

職員による自己評価

A 環境面

・ケガ、事故等がないように環境面の整備を行い、十分な安全が提供できるように努めている。

B 児童への支援内容

・児童の発育や支援内容に沿った療育を提供している。
・未就学児向けの研修の機会が増えてほしい

C 関係機関との連携

・必要に応じて引継ぎや書類の作成を行っている。

D 保護者への説明責任・信頼関係

・支援計画や契約書について説明できている。

E 非常対応

・避難訓練等を行い、災害時の対応をシミュレーションを行っている。

保護者による評価

A 環境面

・記載なし

B 児童への支援内容

・子供が利用を楽しみにしている。

C 事業所からの情報発信

・記載なし

D 非常対応

・災害等、非常時の対応やどのような取り組みが行われているかについて不透明なところがある。

事業所内での分析

【共通点】

- ・安全面の配慮やスタッフの配置について職員、保護者とも一定の評価をいただいている。
- ・連絡帳のやり取りや日々の引継ぎを通して成長の様子や活動内容の共有を行えている。

【相違点】

- ・事業所内での取り組みや研修等の発信が不十分であるために共通の理解になっていないところがある。
- ・保護者からの相談や申し入れがしやすい体制作りが求められる。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・発達課題やニーズに沿った目標を設定している。
- ・利用者の特性に合わせたバリアフリーに努めている。
- ・ケアの内容を記録に残し、職員間で支援の共有を行っている。

事業所の改善点

- ・未就学児に特化した研修の機会を増やしたい。
- ・ケアの様子をわかりやすく保護者に発信できるように方法を探りたい。

事業所の改善への取り組み

- ・未就学児に特化した支援スキル向上のためのミーティングや勉強会等の機会を増やす。
- ・職員間での情報共有を密に行い、支援スキル向上や支援内容の統一を図る。
- ・支援の様子や会社の取り組みを発信する機会を増やすため、どのような手段があるか検討する。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

保護者からは日々の様子や成長の過程をもっと知りたいとの声をいただき、情報発信の必要性や重要性を改めて気づくことができ、ケアの内容や運営について見直すよい機会になった。

また、限られた時間の中でも療育の効果を実感いただけるよう、職員間での情報共有や勉強会等を通じて支援スキルの向上を図りたい。

事業所名 児童デイサービスコンブリオ

担当者 堂山 紗耶佳